

品名 笛吹きカラーケトル 1.6L

- このたびは、本製品をお買上げ頂きましてまことにありがとうございました。
- 安全にご使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき使用方法をご理解の上、正しくご使用ください。
- 本書をお読みになった後は大切に保管してください。

ご使用前に

- 商品に貼っているシール類は取り除いてください。
- 取っ手やつまみなどにかたつきがないかを確認してください。
- 食器用洗剤でよく洗い流してください。(塩素系漂白剤は使用しないでください)
- よく洗浄したケトルに水を入れて(注ぎ口より下が適正水位です)沸騰させ、そのお湯を捨ててください。これを2回ほど繰り返してください。
- 万一品質に不具合が見つかった際は、使用せずにお買い求めの販売店までお問い合わせください。

ご使用後のお手入れ

- 食器用洗剤をスポンジにつけて洗い流し、水気を吹き取っておいてください。
- 塩分や油脂分を含む汚れは放置しておくことサビの原因となりますので、しっかりと洗い流してください。
- アルミの製品や鉄と重ねるなど、接触させた状態で保管しないでください。異なる金属が接触するとサビの原因となります。
- さびたときはクリーム状のクレンザーをスポンジにつけてこすり、よく洗い流してください。
- 使用していると底面や本体とフタの間に、白い斑点が付着しますが、水道水に含まれたカルシウムやマグネシウムが残留したものです。衛生的に問題はありません。継続して使用できます。気になる場合はよく洗い流してください。
- 注ぎ口の部分から湯がたれる際は、注ぎ口の先端を目の細かいクレンザーで磨いてみてください。

使用上のご注意

- 取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。
- 用途以外での使用はおやめください。
- 調理器具として使用しないでください。変色・腐食の原因となります。
- 少なめの水を入れて沸騰させると、本体が焼けて変色の原因となりますのでおやめください。
- 空だきはおやめください。変形・破損の原因となります。
- 火に掛ける際、炎が大きすぎるとハンドル部分が焦げる原因となります。本体の底面よりはみ出さない程度に火力を調節してください。
- コンロで沸騰させるときは本体中央部に安定するように載せてください。
- フタをせずに沸騰させると、ハンドル部分が熱くなって、火傷や脱落の原因となりますので必ずフタを閉めてから沸騰させてください。
- 取っ手は立てたまま沸騰させてください。倒した状態では取っ手が損傷し、火傷の原因となります。
- 沸騰後、すぐに注ぐと熱湯が飛び散ることがありますので20秒ほど待ってから注いでください。
- 熱湯を注ぎ切った直後や熱湯が残っているときは、ハンドル部を持ちながらフタを開けると蒸気で火傷をする恐れがあります。
- つまみがゆるんできたら、ネジを締め直してください。そのまま使用すると脱落する恐れがあります。
- ハンドル部やつまみがゆるんで、がたついたらご使用をおやめください。
- ストーブの上に載せて使用しないでください。火災、火傷の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、空だきをした場合に水などをかけて急冷しないでください。

IH(電磁調理器)・クッキングヒーターで使用する際のご注意

- お使いのIH調理器の取扱説明書を必ずよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 本品は100V、200Vの電磁調理器に対応しますが、200Vの電磁調理器の場合、中火(1.5KW)以上でご使用になりますと、破損し非常に危険です。必ず中火以下でご使用ください。
- 機種によっては、対応しませんのでご注意ください。
- 鍋の底に焦げ付きが残った状態でご使用されますと、電磁調理器の特性上、焦げ付き部分が局部的に異常高温となり、破損の恐れが生じます。
- 効率よく加熱して頂くために、底に付着している水滴はきれいに拭き取ってください。
- 加熱中にブーンといった音が生じる場合がありますが、IH(電磁調理器)とケトルの振動の波動が共鳴するために生じるもので、ケトルの異常ではありません。

- IH調理器の機種によっては使えないものもあります。お使いの機材の取扱説明書をよくご確認ください。
- 誤った使用は機材の故障の原因になります。

下記対応熱源でご使用ください



品質表示

サイズ(約): 200×165×200(mm)
 表面加工: 焼付け塗装
 材質: 本体・底面・ふた / ステンレス鋼(クロム16%)
 (底の厚さ0.4mm)
 ハンドル / フェノール樹脂(耐熱温度150℃)
 笛(樹脂部) / ナイロン樹脂(耐熱温度200℃)
 笛(金属部) / ステンレス鋼
 満水容量: 1.6L 適正使用容量: 約1.1L